



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ピエトロ

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長

(氏名) 池田 邦雄

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

TEL 092-724-4927

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	7,288	1.0	423	△14.7	416	△15.8	228	△6.3
27年3月期第3四半期	7,215	△2.0	496	3.5	494	4.2	243	△3.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 239百万円 (△1.6%) 27年3月期第3四半期 243百万円 (△4.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	40.86	—
27年3月期第3四半期	43.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第3四半期	8,300	3,726	44.9	666.54
27年3月期	7,750	3,604	46.4	643.72

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,726百万円 27年3月期 3,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,700	1.5	520	△13.2	500	△15.8	289	△2.7	51.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	5,591,630 株	27年3月期	5,591,630 株
28年3月期3Q	529 株	27年3月期	497 株
28年3月期3Q	5,591,129 株	27年3月期3Q	5,591,133 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境は改善傾向にあるものの、景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましては、円安や天候不順により仕入コストが上昇するとともに、消費者の節約志向が高まるなど厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、経営の効率化を図るとともに、素材と製法にこだわった高付加価値商品のご提供をとおして、ブランド価値の向上に努めております。

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、食品事業は堅調に推移いたしました。レストラン事業において閉店の影響があったことから、72億88百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

利益面では、原価率の上昇及び販管費の増加などにより、営業利益は4億23百万円（前年同期比14.7%減）、経常利益は4億16百万円（前年同期比15.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億28百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

ブランド戦略を継続するとともに、「万能調味料」としての使い方提案など商品価値を伝える営業をさらに強化し、売上拡大を図っております。また、創業35周年記念事業の各種イベントをとおして、さらなる認知度向上を図ってまいりました。

商品別では、主力のドレッシングである「オレンジキャップ」と「グリーン」が順調に売上を伸ばしました。また、「オリーブオイルシリーズ」など健康を意識したドレッシングの品揃えを充実させるとともに、パスタソースの新商品を投入いたしました。

通信販売限定商品につきましては、健康志向のお客様に向けた「PIETRO Kenkou」シリーズにおいて、冷凍パスタ及び冷凍スープの新商品を投入いたしました。

また、調理の時短化に対応した商品として、「レンジでチンするパスタ」3品を新規発売いたしました。

以上の結果、売上高は53億46百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益は16億76百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

②レストラン事業

旬の食材を取り入れた季節ごとのメニューにつきましては、「春のごちそうフェア」、「冷製パスタフェア」及び「秋のカルボナーラフェア」を実施いたしました。

また、「ピエトロクラブ」会員向けの販促につきましては、会員限定のキャンペーンを実施するなど、来店誘致の強化に取り組んでまいりました。

平成27年9月には、「イムズ店」（福岡市中央区）に、「野菜の食べ方・楽しみ方」を提案する新業態として、“YASAI Café”（野菜カフェ）を併設し、「PIETRO CORTE & YASAI Café イムズ店」としてリニューアルオープンいたしました。

平成27年12月には、グランドメニューを刷新し、かつての人気メニューを「復刻メニュー」として13品ご提供するとともに、「糖質オフパスタ」やカロリーを抑えた「ZENパスタ」など健康志向のメニューを新たに加えております。

以上の結果、売上高は18億24百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント損失は34百万円（前年同期は57百万円のセグメント損失）となりました。

③その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、売上高は1億18百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は58百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5億50百万円増加し、83億円となりました。これは主に有形固定資産（純額）が4億3百万円、売掛金が1億29百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ4億28百万円増加し、45億74百万円となりました。これは主に買掛金が1億3百万円、未払金が1億60百万円、短期借入金が5億円それぞれ増加する一方、長期借入金（一年内含む）が85百万円、未払法人税等が1億54百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ1億22百万円増加し、37億26百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億6百万円及び四半期純利益2億28百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内景気は改善傾向にあるものの、海外経済の減速など、予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当社グループは、食品事業とレストラン事業の連携を図りながら、お客様満足度向上と企業価値のさらなる向上に努めてまいります。

なお、平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年10月29日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,359,385	1,289,854
預け金	43,449	62,741
売掛金	1,304,025	1,433,251
商品及び製品	84,550	100,939
仕掛品	3,691	3,647
原材料及び貯蔵品	130,352	141,394
繰延税金資産	36,148	13,319
その他	114,702	143,288
貸倒引当金	△809	△794
流動資産合計	3,075,497	3,187,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,389,256	1,344,794
土地	2,006,202	2,006,202
その他(純額)	243,797	691,953
有形固定資産合計	3,639,256	4,042,950
無形固定資産	52,140	42,074
投資その他の資産		
敷金及び保証金	441,213	441,430
保険積立金	374,749	403,332
その他	186,462	202,539
貸倒引当金	△19,244	△19,111
投資その他の資産合計	983,181	1,028,190
固定資産合計	4,674,579	5,113,215
資産合計	7,750,076	8,300,856
負債の部		
流動負債		
買掛金	490,807	594,243
短期借入金	1,250,000	1,750,000
1年内返済予定の長期借入金	305,000	145,008
未払金	394,948	555,569
未払法人税等	169,316	14,976
賞与引当金	48,283	25,345
その他	316,102	232,814
流動負債合計	2,974,457	3,317,957
固定負債		
長期借入金	240,832	315,406
役員退職慰労引当金	636,006	660,670
退職給付に係る負債	55,227	55,610
資産除去債務	54,411	55,086
その他	185,104	169,407
固定負債合計	1,171,581	1,256,179
負債合計	4,146,038	4,574,136

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	512,025	506,645
利益剰余金	2,581,334	2,703,573
自己株式	△449	△495
株主資本合計	3,567,310	3,684,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,497	36,895
為替換算調整勘定	7,333	5,701
その他の包括利益累計額合計	31,830	42,596
非支配株主持分	4,896	—
純資産合計	3,604,038	3,726,720
負債純資産合計	7,750,076	8,300,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	7,215,083	7,288,737
売上原価	2,912,244	2,968,609
売上総利益	4,302,838	4,320,127
販売費及び一般管理費	3,806,443	3,896,781
営業利益	496,395	423,346
営業外収益		
受取利息	233	340
受取配当金	778	881
為替差益	7,994	927
その他	2,971	1,273
営業外収益合計	11,978	3,422
営業外費用		
支払利息	8,959	8,464
シンジケートローン手数料	4,642	1,748
その他	132	56
営業外費用合計	13,735	10,269
経常利益	494,637	416,499
特別利益		
固定資産売却益	1,207	4,945
特別利益合計	1,207	4,945
特別損失		
固定資産除却損	3,701	2,823
減損損失	9,571	22,302
特別損失合計	13,273	25,125
税金等調整前四半期純利益	482,572	396,318
法人税、住民税及び事業税	207,828	142,202
法人税等調整額	30,872	25,966
法人税等合計	238,700	168,169
四半期純利益	243,872	228,149
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△321
親会社株主に帰属する四半期純利益	243,872	228,470

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	243,872	228,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,715	12,397
為替換算調整勘定	△2,575	△1,486
その他の包括利益合計	△860	10,911
四半期包括利益	243,011	239,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243,011	239,236
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△175

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,157,248	1,946,837	110,997	7,215,083	—	7,215,083
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,462	1,462	△1,462	—
計	5,157,248	1,946,837	112,459	7,216,545	△1,462	7,215,083
セグメント利益 又は損失(△)	1,704,376	△57,637	51,857	1,698,595	△1,202,200	496,395

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,202,200千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては9,571千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,346,172	1,824,185	118,379	7,288,737	—	7,288,737
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,462	1,462	△1,462	—
計	5,346,172	1,824,185	119,841	7,290,199	△1,462	7,288,737
セグメント利益 又は損失(△)	1,676,119	△34,664	58,688	1,700,144	△1,276,798	423,346

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,276,798千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては22,302千円であります。